YAMAHA

J

スピーカー

NS-B901

取扱説明書

ご使用の前に必ずお読みください。

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。
- 保証書は、「お買上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付



Soavo

DC-Diaphragm

目次

安全上のご注意.....2
本機の特長.....4
スピーカーの設置.....4
アンプとの接続.....5
サランネットの取り付け.....6
仕様.....6

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「〜しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

■「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

⚠ 警告 この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

⚠ 警告

分解禁止


分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因になります。
修理および調整は販売店にご依頼ください。

設置


水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- **浴室・台所・海岸・水辺**
- **加湿器を過度にきかせた部屋**
- **雨や雪、水がかかるところ**

水の混入により、火災や感電の原因になります。


必ず実行

取付け後は必ず安全性を確認する。

また、定期的に落下や転倒の可能性がないか安全点検を実施してください。
取付け箇所、取付け方法の不備による事故等の責任は、一切負いかねますのでご了承ください。


必ず実行

スピーカーケーブルは必ず壁などに固定する。

ケーブルに足や手を引っかけるとスピーカーが落下や転倒し、故障やけがの原因となります。

使用上のご注意


禁止

ポート（背面開口部）などに異物を入れたりしない。

火災や感電の原因になります。


禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。

水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。
接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。

⚠ 注意

設置



不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。



直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）には設置しない。
外装が変形や、内部回路への悪影響が生じて、火災の原因になります。



ほこりや湿気の多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。



スピーカーの底面積より狭い場所や傾斜のある場所には設置しない。
スピーカーが落下や転倒して、けがの原因になります。



接続する場合は、アンプの電源を切る。接続方法は、それぞれの機器の取扱説明書に従う。

移動



移動するときは、アンプの電源スイッチを切り、すべての接続コードを外す。
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



持ち運ぶときは、ポート（背面開口部）や前面のサランネットに手をかけない。
ポートが外れたり、サランネットが破れたり、本機を落としたりして、けがの原因になります。

使用上のご注意



電源を入れる前や、再生を始める前には、アンプの音量（ボリューム）を最小にする。
突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。



音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。



ポート（背面開口部）に手を入れない。
感電やけがの原因になります。



本機に乗ったり、ぶら下がったり、寄りかかったりしない。
落下や転倒したり、破損したりして、けがの原因になります。

お手入れ



薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。



（艶出し仕上げモデルの場合）本体の表面に金属、陶器、その他硬い物を当てない。
表面にひびが入ったり、剥がれたりする場合があります。

お手入れのしかた
キャビネットを美しく保つため、柔らかい布で乾拭きするようにしてください。汚れがひどいときは、水を布に含ませ、よくしぼって拭き取ってください。



音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

本機の特長

- アドバンスドPMDコーン採用
- 2 ウェイ 2 スピーカーシステム

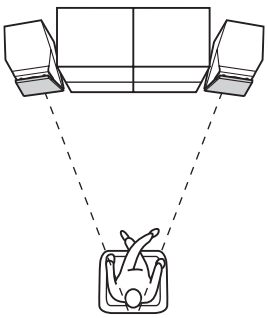
スピーカーの設置

ご注意

サランネットはスピーカー本体から外れた状態で梱包されています。失くさないようにご注意ください。

■ 2 チャンネルスピーカーシステムとして

図のようにリスニングポジションに対して少し内側に向け設置することにより、効果的なステレオ再生ができます。

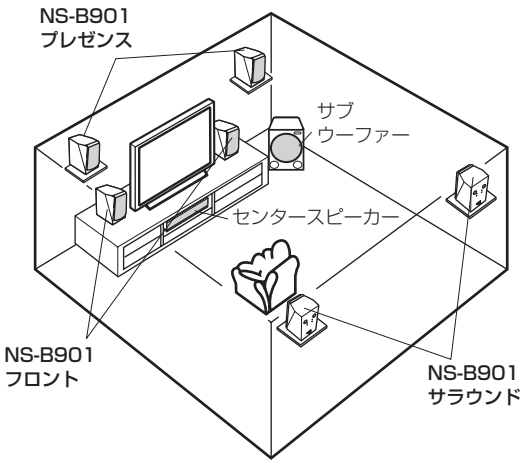


■ ホームシアターシステムのフロントスピーカーとして

テレビの左右に設置します。スクリーンを設置している場合は、スクリーンの両脇に設置してください。

■ プレゼンス、またはサラウンドスピーカーとして

スピーカーを棚などに設置します。設置するときは、アンプまたはレシーバーの取扱説明書を参照してください。



ご注意

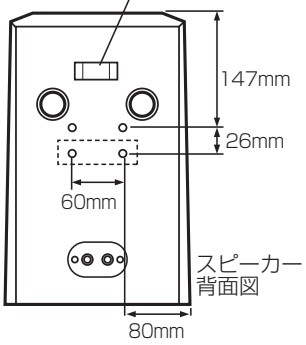
スピーカーをブラウン管テレビの近くに設置すると画像の乱れや雑音が生じることがあります。そのような場合は、スピーカーとテレビを約 20cm 離してください。液晶テレビやプラズマテレビには影響しません。

別売ヤマハスピーカーブラケット SPM-50S に取り付ける場合

スピーカーブラケットを使用して、壁や天井に取り付ける際は、本機背面の取り付け用ネジ穴（直径 6mm、深さ 15mm）を利用します。（市販のスピーカーブラケットを使用する場合は、本機背面のネジ穴とサイズの合うブラケットをお使いください。）

- 取り付けの際は、SPM-50S の取扱説明書もあわせて参照してください。

落下防止ワイヤー用金具*



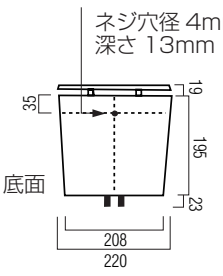
- 4つ穴のブラケットを使用する際は、4ケ所のネジ穴すべてにネジを締め付けてください。
- 2つ穴のブラケットを使用する際は、左図の点線で囲まれた2つのネジ穴を使用してください。

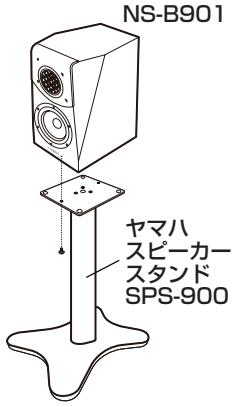
*スピーカーブラケットに固定した後、落下防止ワイヤーを取り付けてください。

別売ヤマハスピーカースタンド SPS-900 に取り付ける場合

本機底面の穴（直径 4 mm、深さ 13mm）を利用して SPS-900 に取り付けると、フロアースタンドスピーカーとして使用できます。

- 取り付けの際は、SPS-900 の取扱説明書もあわせて参照してください。





ご注意

- **スピーカーケーブルは必ず固定してください。**
  手や足に引っかけて、本機が転倒する原因になります。
- **スピーカーを釘や両面テープなどで取り付けないでください。**
  使用中の振動で釘がゆるんだり、両面テープがはがれて本機が落下し、損傷やけがの原因になります。
- **スピーカーケーブルをスピーカーとスピーカーブラケットの間に挟まないようにご注意ください。**
- **市販のスピーカーブラケットを使用する際は、本機の質量（5.9kg）に十分耐えるものをお求めください。**
- **取り付け後は必ず安全性を確認してください。取り付け箇所、取り付け方法の不備による事故等の責任は、当社では一切負いかねますのでご了承ください。**

アンプとの接続

接続するときは、必ずアンプなどの電源を切ってから行ってください。

■ 接続について

市販のスピーカーケーブルをご用意ください。

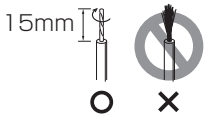
スピーカーケーブルの太さや材質は、再生音質に影響を与えます。本機の性能を十分に発揮させるために、高品質のスピーカーケーブルを使うことをおすすめします。

ご注意

- **スピーカー背面の端子とアンプのスピーカー端子を市販のスピーカーケーブルで接続します。本機の赤端子はプラス（＋）、黒端子はマイナス（－）です。**
- **左スピーカーはアンプのL（左）端子に、右スピーカーはアンプのR（右）端子に接続します。極性（＋、－）を間違えると不自然な音になりますので、ご注意ください。**
- **スピーカーの許容入力以上の出力を持つアンプを使用する場合は、スピーカー保護のため、最大入力以上の出力を入力しないよう、ご注意ください。**
- **アンプのトーンコントロール（BASS、TREBLE等）やイコライザーを最大にして過大出力で使用したり、特殊な信号（テープの早送り時の音、プレーヤーの針先のショック音、信号発生器の特定の周波数、サイン波などの再生波）を連続して入力することは、スピーカーの破損の原因となりますので、絶対に行なわないでください。**
- **接続する際は、アンプの取扱説明書もあわせて参照してください。**

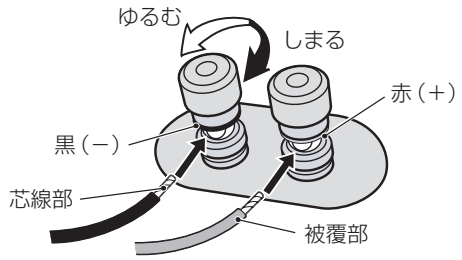
接続のしかた

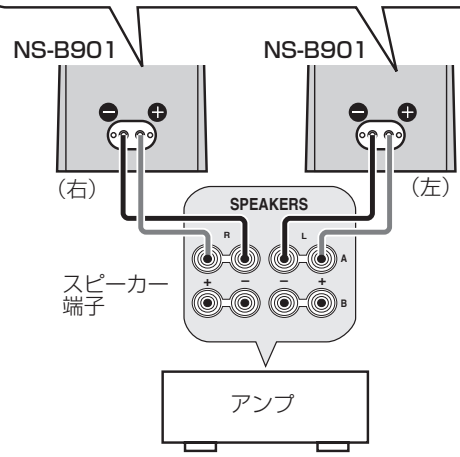
1. 端子を左に回してゆるめます。
2. スピーカーケーブル先端の絶縁部分（ビニール)をよじりながら引き抜きます。
3. スピーカーケーブルをスピーカー端子の穴に差し込みます。
4. 端子を右に回して締めつけます。
5. 芯線部分が穴からはみ出していないかどうかを確認してください。



ご注意

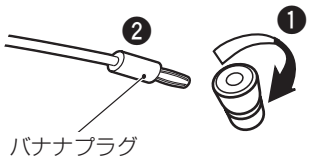
- **スピーカーケーブルの芯線部どうしを接触させないでください。本機やアンプが破損する場合があります。**
- **ケーブルの被覆部を穴の中に入れないでください。音が出ないことがあります。**





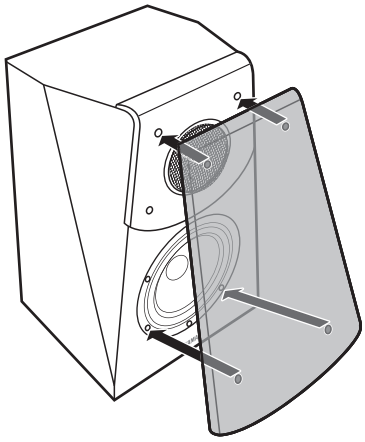
市販のバナナプラグ使用の場合

1. 端子を右に回して強く締めます。
2. バナナプラグをスピーカー端子の穴に差し込みます。



サランネットの取り付け

本機とサランネットは別々に梱包されています。取り付ける場合は、サランネット裏面の凸部（マグネット）を本機の対応するネジと合わせます。



ご注意

- **スピーカーのウーファー部、振動板、ツィーター等には触ったり、無理な力を加えないでください。**音が歪んだり、故障の原因となります。
- 本機のサランネット裏面には磁石が使われています。**取り外したサランネットを磁気の影響を受けるもの**（テレビ、時計、磁気カード、フロッピーディスクなど）**には近づけないでください。**

仕様

型式	2 ウェイ・バスレフ／非防磁型
スピーカーユニット	13cm コーンウーファー × 1
	3cm アルミドームツィーター × 1
インピーダンス	6 Ω
再生周波数帯域	52Hz ～ 50kHz (− 10dB)
	～ 100kHz (− 30dB)
許容入力	30W
最大入力	120W
出力音圧レベル	87dB/2.83V/m
クロスオーバー周波数	4kHz
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	
（端子含む）	220 × 349 × 237mm
（端子除く）	220 × 349 × 214mm
質量	5.9kg

※ 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

※ 上記の最大入力値以上の信号を加えないよう十分ご注意ください。

お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ヤマハお客様コミュニケーションセンター
オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通） 0570-011-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

受付：月～金曜日 10:00～18:00　土曜日 10:00～17:00
（日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

■ ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様からお寄せいただくよくあるお問い合わせをまとめました。
ぜひご覧ください。

http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル（全国共通） 0570-012-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

受付：月～金曜日 9:00～18:00　土曜日 9:00～17:00
（日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様
(03) 5762-2125

九州、沖縄、中国、四国、近畿、北陸地域にお住まいのお客様
(06) 6465-0367

修理品お持ち込み窓口
受付：月～金曜日 9:00～17:45
（土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

東日本サービスセンター
〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター
〒554-0024 大阪市此花区島屋6-2-82
ユニバーサル・シティ和幸ビル9F
FAX (06) 6465-0374

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

● **保証期間**
製品に添付されている保証書をご覧ください。

● **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● **保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● **修理料金の仕組み**

技術料　故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

部品代　修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料　製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

● **補修用性能部品の最低保有期間**
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● **製品の状態は詳しく**
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

● **スピーカーの修理**
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● **摩耗部品の交換について**
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。
摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

摩耗部品の一例
ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！



愛情点検

こんな症状はありませんか？
- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。

すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、
必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社
〒430-8650　浜松市中区中沢町10-1



© 2013 Yamaha Corporation

ヤマハ株式会社
Printed in Indonesia ZH67560